発展

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル(その4)

<u>* 2 4</u> 【No. 2 4 の後で学習☆発展問題】(1/4)

球面とロ=kと交わる円

◇《球面と□=kと交わる円》 学力化 → / ,

- ★解法の技術★ -

中心が点(1, -3, 2)で、原点を通る球面をSとする。

Sと平面z=kの交わりが半径√5の円になるという。kの値を求めなさい。

【考え方】原点を通る球面Sの半径は、中心と原点との距離に等しい。このことを利用して、 まずSの方程式を求める。

> 平面 z = k の交わりであるから、球面 S の方程式に z = k を代入する。 交わりの図形(円)の方程式に注目して半径をk で表し、k の方程式に帰着。 【注意】図形の方程式に z = k を書き忘れないように!

[答案]

O (球面Sの方程式を求める)

球面Sの半径rは、中心(1, -3, 2)と原点の距離に等しいから、

$$r^2 = 1^2 + (-3)^2 + 2^2 = 14$$

【(半径)²を求める

よって, 球面Sの方程式は,

$$(\chi - 1)^2 + (y + 3)^2 + (z - 2)^2 = 14$$
 ... ①

1 (切り口となる円の方程式を k で表す)

▼球面の方程式と平面の方程式を連立する。

平面の方程式は z = k で表されるから、球面の方程式①に z = k を代入して、

$$(\chi - 1)^2 + (y + 3)^2 + (k - 2)^2 = 14$$
, $z = k$

これを整理して, $(\chi - 1)^2 + (y + 3)^2 = 14 - (k - 2)^2$, z = k …②

2 (求めた方程式から円の中心と半径を求める(kで表す))

②の方程式は、中心(1, 3, k)、半径 $\sqrt{14-(k-2)^2}$ の円を表す。

3 (kの値を求める)

よって、条件から、 $\sqrt{14-(k-2)^2} = \sqrt{5}$

両辺を2乗して、 $14-(k-2)^2=5$

 $(k-2)^2 = 9$ より、 $k-2 = \pm 3$

よって, k = -1, 5

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル
4 位置ベクトル(その4)
<u>*24</u> 【No.24の後で学習☆発展問題】(2/4)
◇《球面と□=kと交わる円》 学力化 → / .
★理解のチェック★
中心が点(一2, 4, 一2)で, 2つの座標平面に接する球面Sの方程式は ア である。
また、Sと平面 $\chi=$ kの交わりが半径 $\sqrt{3}$ の円であるとき、k $=$ $\boxed{ 1 }$ である。

[答案]

【注】授業で使う「テキスト(プリント)」には、

- ・解法の全体の方針や流れを示すガイド(【考え方】)や
- ・答案作成フォーマット(共通テストに準じた誘導ガイド) が印刷されています。

発展

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル(その4)

』【No.24の後で学習☆発展問題】(3/4)

◇《球面と□=kと交わる円》 学力化 → / ,

= ◇発展演習◇【 1 】 =====

中心が(a, 1, 1), 半径が4の球面が, y z 平面と交わってできる円の半径が2であるとき, a の値を求めなさい。

[答案]

【注】授業で使う「テキスト(プリント)」には、

- ・解法の全体の方針や流れを示すガイド(【考え方】)や
- ・答案作成フォーマット(共通テストに準じた誘導ガイド) が印刷されています。

第3章 空間座標とベクトル 1・空間のベクトル

4 位置ベクトル(その4)

』【No.24の後で学習☆発展問題】(4/4)

◇《球面と□=kと交わる円》 学力化 → / ,

=◇発展演習◇【2】 ━━━

中心が点(2, 1, a)で、点(1, 1, 1)を通る球面Sが、 χ y 平面と交わってできる円の半径が $\sqrt{6}$ であるという。このとき、aの値を求めなさい。

[答案]

【注】授業で使う「テキスト(プリント)」には、

- ・解法の全体の方針や流れを示すガイド(【考え方】)や
- ・答案作成フォーマット(共通テストに準じた誘導ガイド) が印刷されています。